

YMS-03 ヴァッフ

トレンフ・Y・ミノフスキーは夢見ていた。ジオン自治共和国を実質的に掌握していたギレン・ザビ政治部長とダーク・コロニーで対面したとき、すでに高齢であったが天賦の才は衰えることなく、敵が刺された隙は自信に溢れていた。

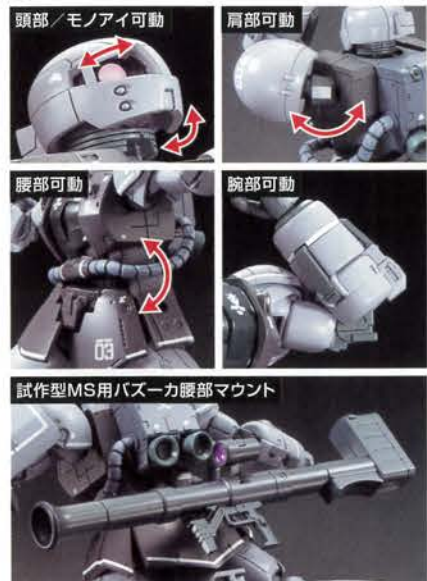
みずから提唱した新理論を元に設計中の新型機動兵器が宇宙を飛行し、地球連邦宇宙軍艦隊からの砲撃をかわくると、メインスラスタを全開にして突撃していく。新型機は機敏な姿勢制御で機体を反転させると、急速降下を行いマゼラン級宇宙戦艦の艦底部に回り込んだ。マニピュレーターに把持させていた試作型MS用バズーカを構え、機関部に狙いを定めて発射。マゼラン級は特大の火球を発生させて轟沈していく。鮮やかな爆光に照らされた新型機は、モノアイ型メインカメラにサラミス級宇宙巡洋艦を捉えると、対空兵器の迎撃を避けて至近距離から一撃を放った……

博士は、ギレン政治部長が「MS-03」と名付けた機動兵器のうちにYMS-03 ヴァッフと改められる一に連なるものたちが兵器体系の最上位へと登りつめていく光景をほつきりと脳内に描くことができた。5年後のU.C.0079年1月23日、彼が夢見た光景はサイド5、ルウム宙域において現実のものとなり、人型機動兵器「モビルスーツ」の戦闘力を地球連邦軍に知らしめた史実として永く語られることになる。しかし、ミノフスキー博士がその報を受け取ることはなかった。

※画像はイメージです。



GIMMICK



ギミック

REAR VIEW

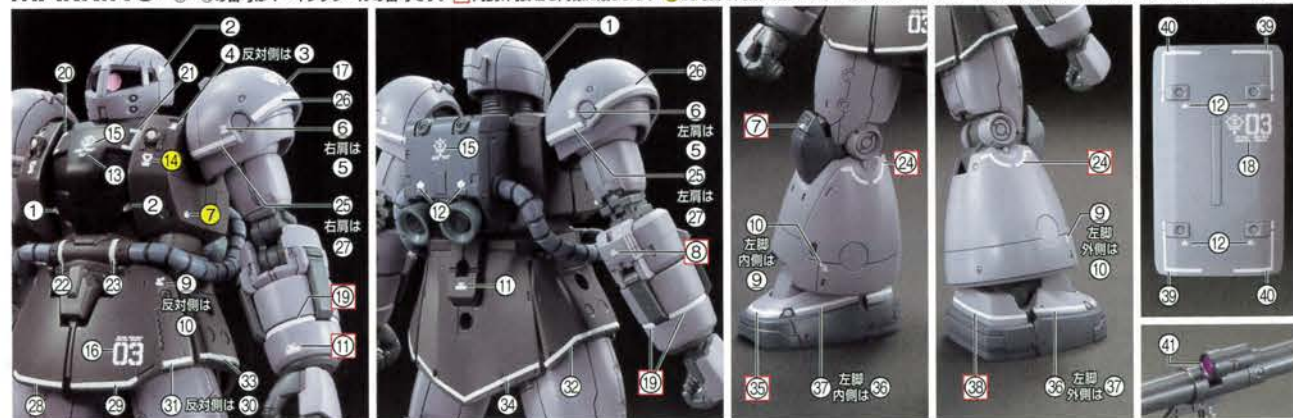


FRONT VIEW



フロントビュー

MARKING



※マーキングシールの余白部分をカットして貼るとよりリアルになります。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、こちらの基本色をご覧ください。 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- | | | | | |
|---|---|--|---|---------------------------------------|
| ● 本体等ライトグレー部：
ホワイト(70%) + グレー(30%)
+ プールグレー(少量) | ● 本体等ブラウン部：
グレー(40%) + ココアブラウン(30%)
+ ブラック(20%) + おすき色(10%) | ● 関節等：
グレー(90%) + ブラック(10%) | ● 胸部等：
ミッドナイトブルー(100%) | ● サーチライト：
ホワイト(100%) + ライトブラウン(少量) |
| ● 動力パイプ、ヒートホーク 刃部：
ホワイト(80%) + ブルーグレー(20%)
+ ワインレッド(少量) | ● ランドセル等：
ホワイト(60%) + ミディアムブルー(30%)
+ パープル(10%) | ● 武器等：
ブルーグレー(80%) + ブラック(10%)
+ デイトナグリーン(10%) | ● バズーカセンサー：
下地にシルバー(100%)
+ クリア(50%) + クリアブルー(25%)
+ クリアレッド(25%) | |

●ここに掲載している情報は2016年4月現在のものです。

© 創通・サンライズ

HG
GUNDAM THE ORIGIN

1/144 SCALE

機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
ジ・オリジン

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。



YMS-03 WAFF
AUTONOMOUS REPUBLIC OF ZEON PROTOTYPE MOBILE SUIT

HG 1/144 「ヴァッフ」

BANDAI 2016 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装済みです。 ●この商品には、HG 1/144 ヴァッフが1体のみ入っています。
●画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。

0206308



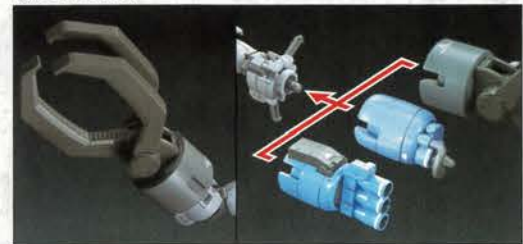
YMS-03 WAFF ヴァッフ

ジオン・ズム・ダイクンの死後、サイド3の民衆、いやジオン自治共和国そのものが「戦争」を欲するようになっていた。それはザビ家による周到な情報操作と地球連邦政府の怠惰が和合し結実したものだったが、政治部長のギレンらジオンの中核は来るべき開戦に備え、速戦速決の要となるプランをいくつか同時進行させていた。ドズルが進める人型機動兵器「モビルスーツ」の開発とは、その内のひとつであった。開発に莫大な予算と2年の期間が費やされるも、状況は円滑を欠いていた。さらには動力用融合炉を露出させた機体レイアウト—兵器としての致命的欠陥をギレンに指摘され、計画は破棄されるかと思われた。が、その危機を救ったのがトレノフ・Y・ミノフスキー博士と、YMS-03 ヴァッフであった。「武器(武具)」の意である「waffe」を名前の由来とするYMS-03 ヴァッフは、博士が設計した新機軸の小型融合炉を



腕部アタッチメント交換機能

ヴァッフの前腕部は、モビルワーカー MW-01 01式 後期型と同規格のアタッチメント交換方式を採用している。クローや試作型ヒートロッドなどに交換可能で、実証試験も行われた。開発が進み、戦況に応じて武装を選択し、マニピュレーターで把持させるほうがより実戦的と評価され、腕部アタッチメント交換機能は排除されていた。



※[HG 1/144 ヴァッフ]以外の商品は全て別売りです。

機体内部に搭載。発生したエネルギーを極超音速で伝達する流体パルスシステムを用いたことで駆動性能が向上し、宇宙空間での自在な姿勢制御の獲得に成功する。機動性能試験では、ミノフスキー粒子の影響下にある宙域で、宇宙戦闘用艦船および戦闘機、誘導兵器を凌駕するポテンシャルを十二分に提示してみせた。機体は兵器たるにふさわしい洗練さを手に入れた。モビルワーカー MW-01 01式 後期型から採用されていた腕部のアタッチメント交換機能を継承。マニピュレーターなどの各種アタッチメントを交換することで、戦況に対応する。型式番号「YMS-03」が示すとおり、ヴァッフは試作機が少数製作されたのみで、制式採用されることはなかったが、すべてのモビルスーツのルーツとなる、重要な機体と位置づけられるだろう。

ランドセル

モビルワーカー MW-01 01式では動力用融合炉が本体に収まり切らず、背部に搭載されていた。小型融合炉を機体内に搭載したヴァッフの背部はメインスラスタと補助スラスタを収めたランドセルのみで、格段に小型化が進んでいる。



シールド

モビルスーツ用の防御兵器。前腕に装着する。YMS-03以外の機体も初期には使用していたが、その後、制式採用されたMS-05とMS-06では、防弾性を向上させた複合装甲製で、形状も肩部に装着するタイプに変更されている。

試作型MS用バズーカ

ロケットランチャーをモビルスーツが携行できるサイズにまで大型化した兵器。モビルスーツでの対艦戦闘で、戦艦クラスの巨大な目標物に対しても極めて有効な兵器となっていた。後方にマガジンを装着するタイプで、装弾数は3。



SPEC

型式番号: YMS-03
頭頂高: 17.34m
全幅: 8.8m
武装: 試作型MS用バズーカ
シールド
ヒート・ホーク

ヒート・ホーク

モビルスーツのために開発された、斧形の近接戦闘用武器。使用時は、装甲を溶断できるほどブレード部が高熱になる。腰に装着できるため携行性にも優れ、YMS-03以降のモビルスーツにも装備されている。

※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。 ※データは劇中の設定です。

警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

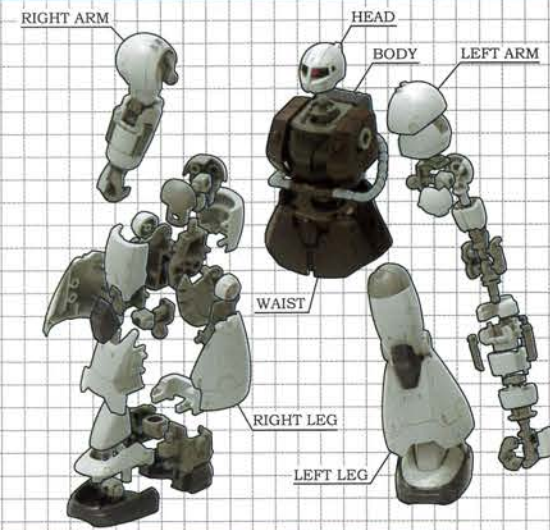
●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意(ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

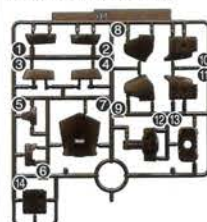
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。



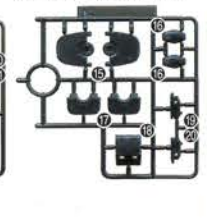
PARTS LIST

※×印は使用しないパーツです。

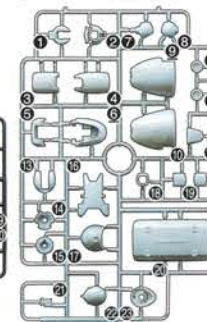
A1パーツ (スチロール樹脂:PS)



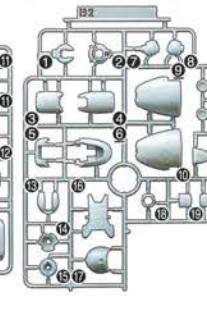
A2パーツ (スチロール樹脂:PS)



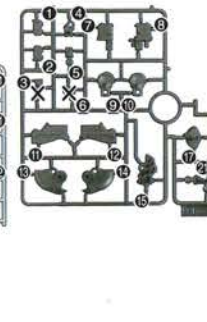
B1パーツ (スチロール樹脂:PS)



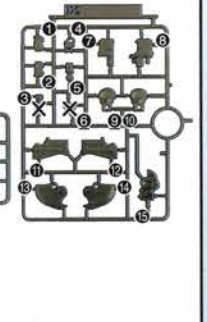
B2パーツ (スチロール樹脂:PS)



D1パーツ (スチロール樹脂:PS)



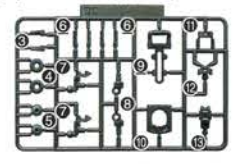
D2パーツ (スチロール樹脂:PS)



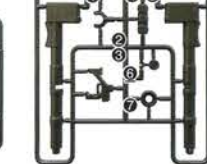
C1パーツ (スチロール樹脂:PS)



C2パーツ (スチロール樹脂:PS)



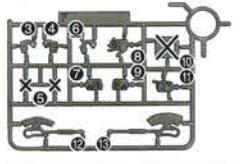
E1パーツ (スチロール樹脂:PS)



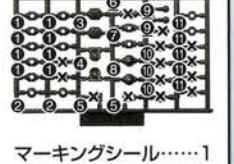
E2パーツ (スチロール樹脂:PS)



Fパーツ (スチロール樹脂:PS)



PC-001パーツ (ポリエチレン:PE)



マーキングシール……1

各部品は、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。



はさみ込むパーツの入れ忘れに注意!

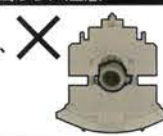
説明書をよく見て、はさみ込むパーツを確認してください。

Point はさみ込む位置もよく確認しましょう。



ポリキャップのすれ、曲がり注意!

PC部品は軟質素材のため、つぶさないようにまっすぐ取り付けましょう。



TORENOV Y. MINOVSKY

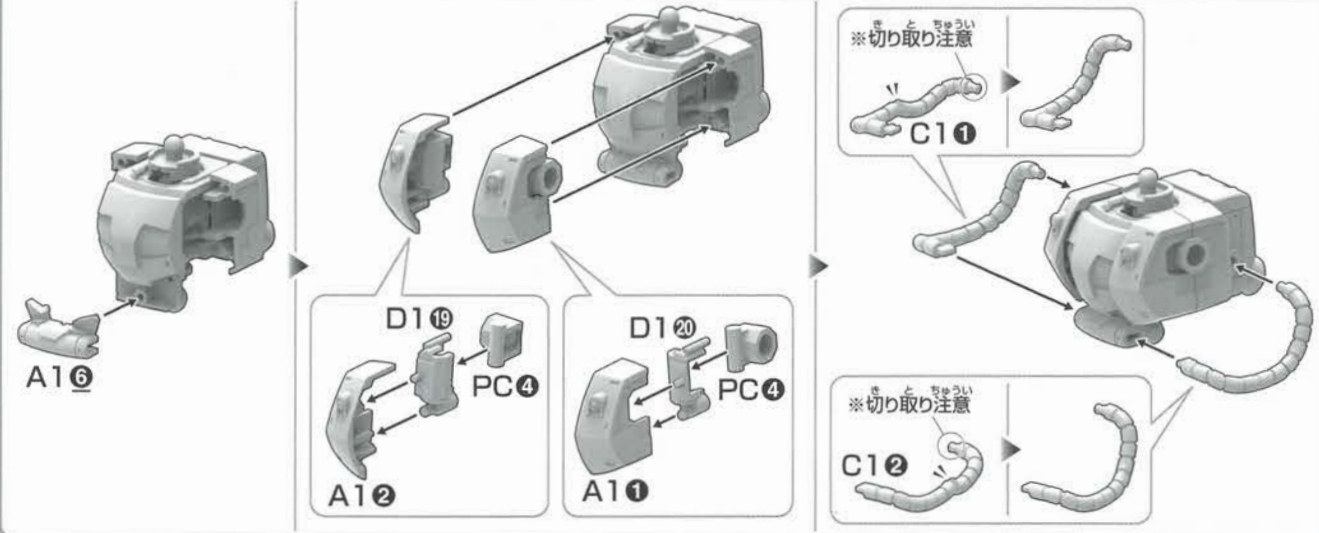
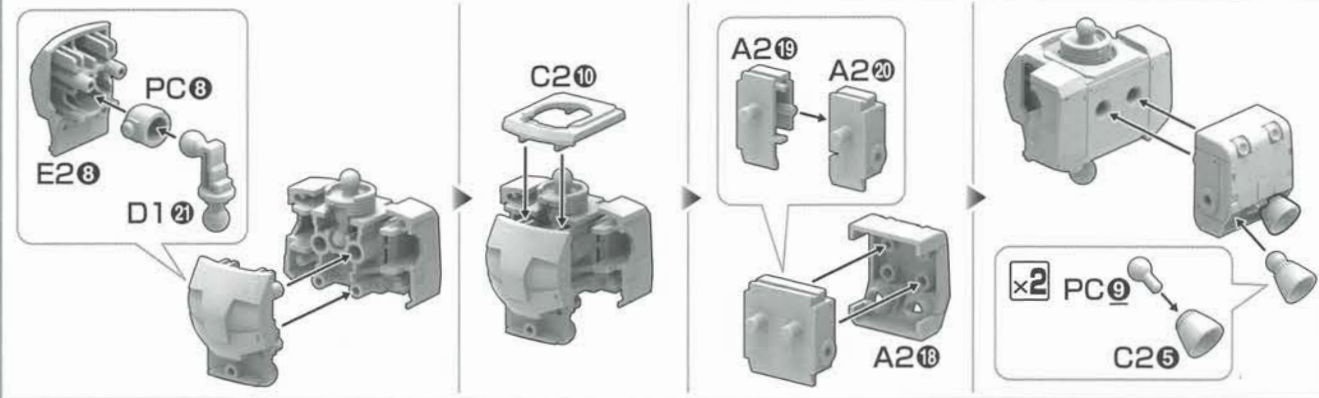
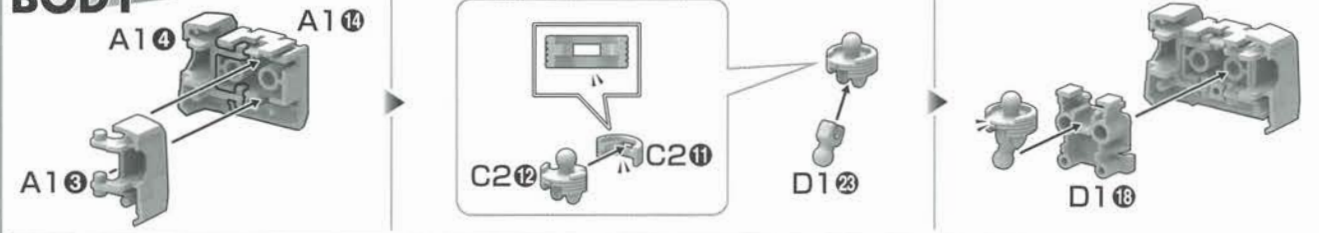


トレノフ・Y・ミノフスキー

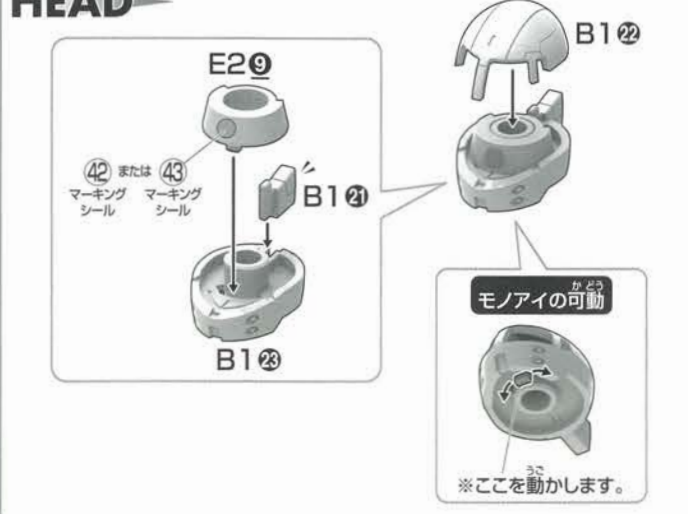
ミノフスキー物理学を提唱した天才科学者。ジオニック社に招へいされ技術顧問として、ドズルが進めるモビルスーツ開発に参加する。博士は融合炉の小型化という開発計画最大の難題を解決し、ミノフスキー粒子を用いた流体パルスシステムを導入することで駆動性能を飛躍的に向上させ、モビルスーツの実用化を一気に加速させた。博士には門下の科学者も存在し、彼らがモビルスーツ開発をさらに進めていくことになる。

※組立図中に登場するアイコンは欄外に説明があります。

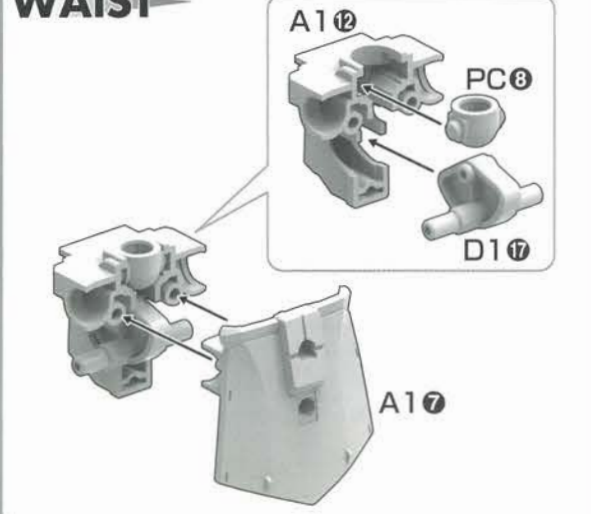
BODY



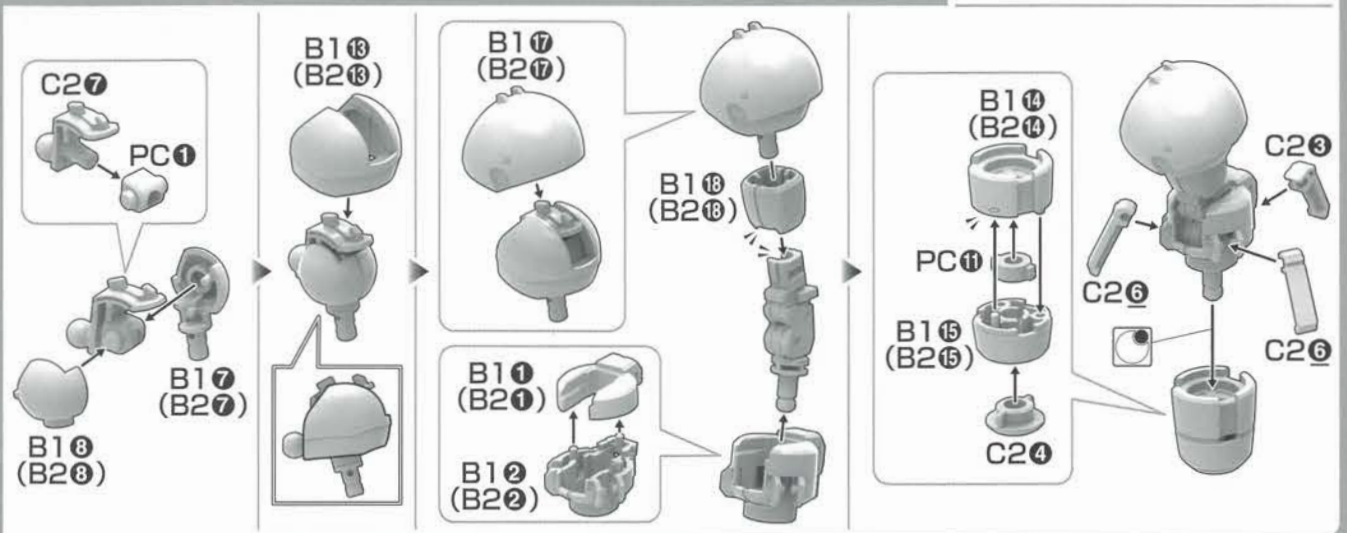
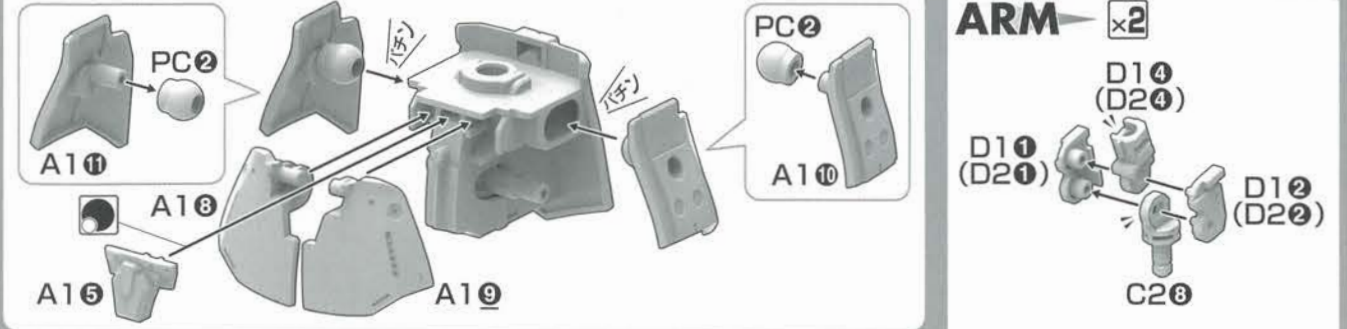
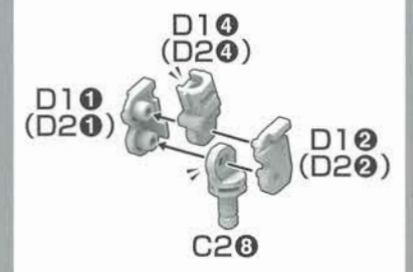
HEAD



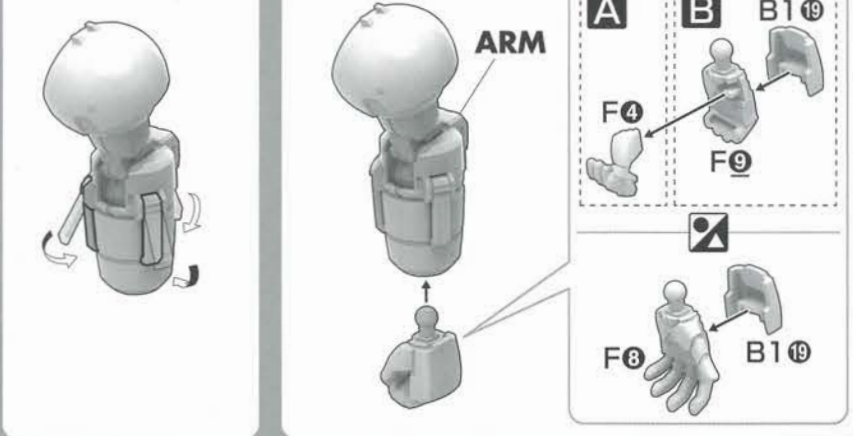
WAIST



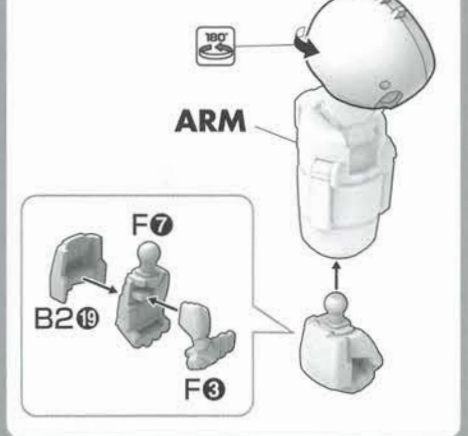
ARM x2



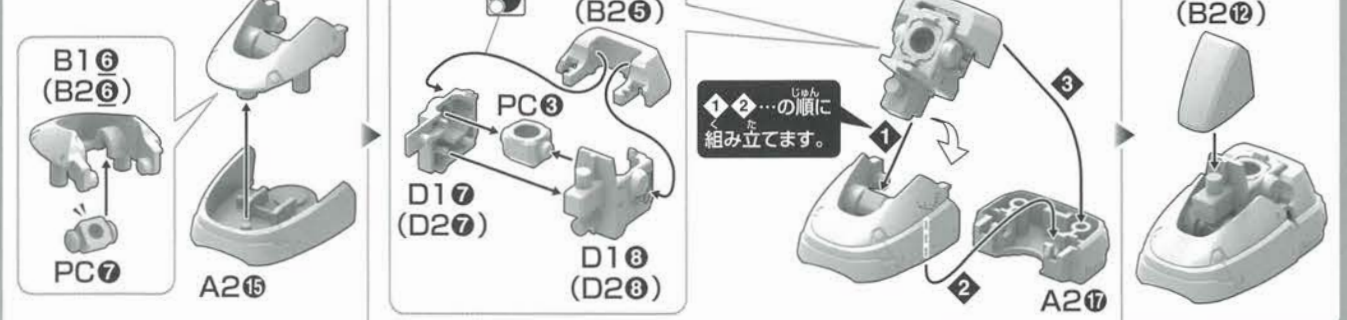
LEFT ARM



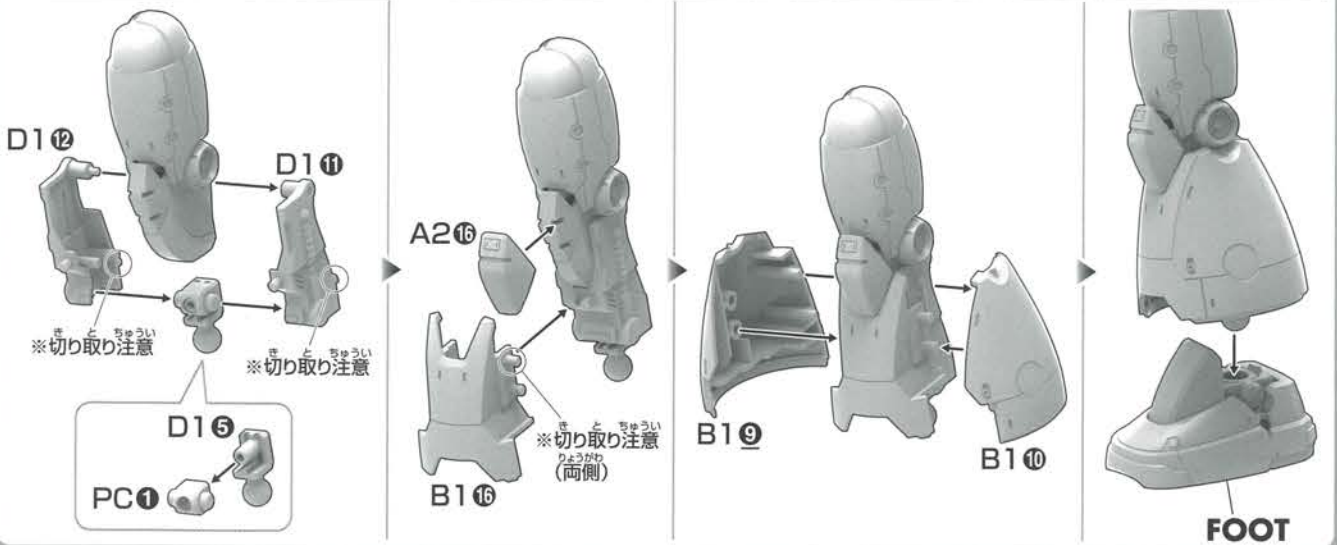
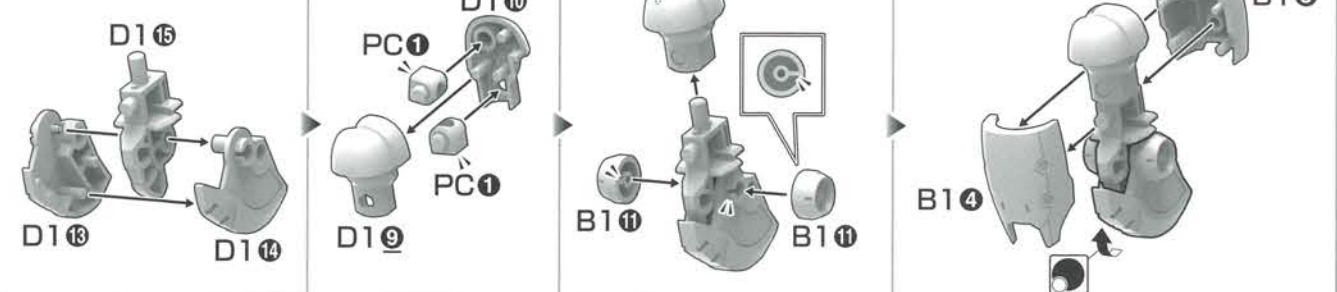
RIGHT ARM



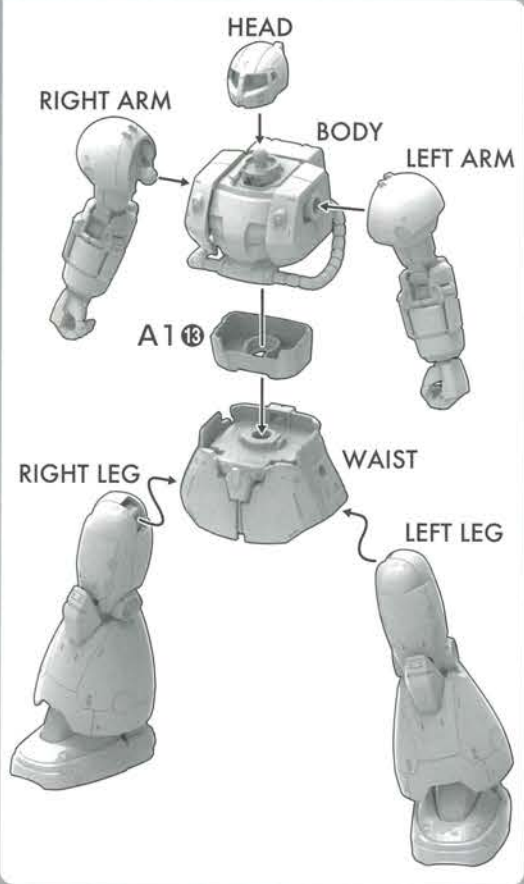
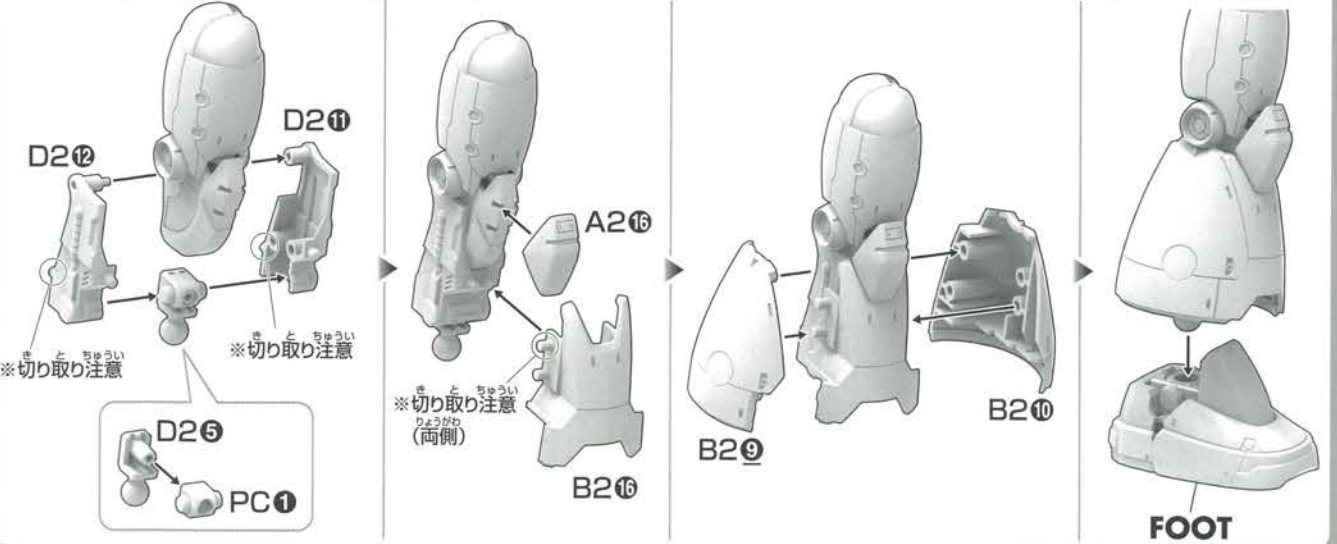
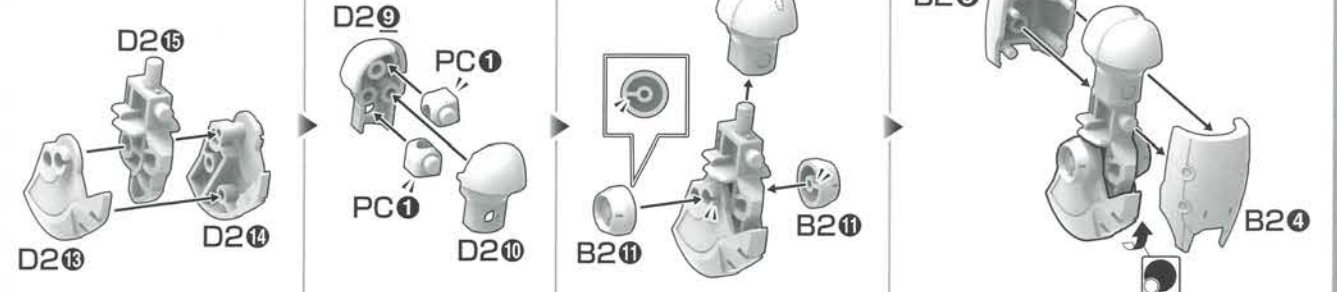
FOOT x2



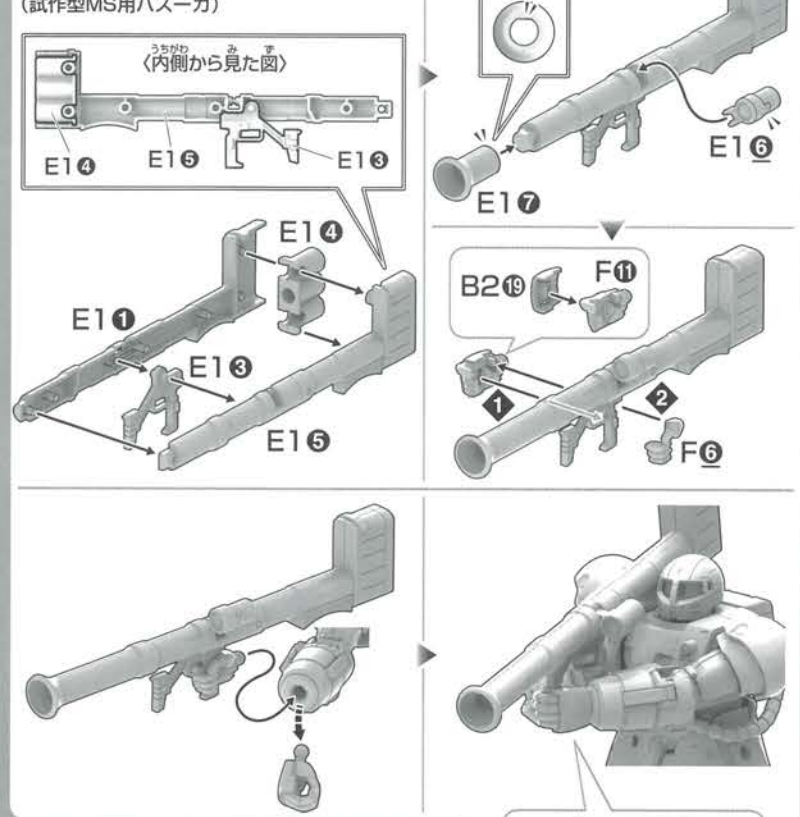
LEFT LEG



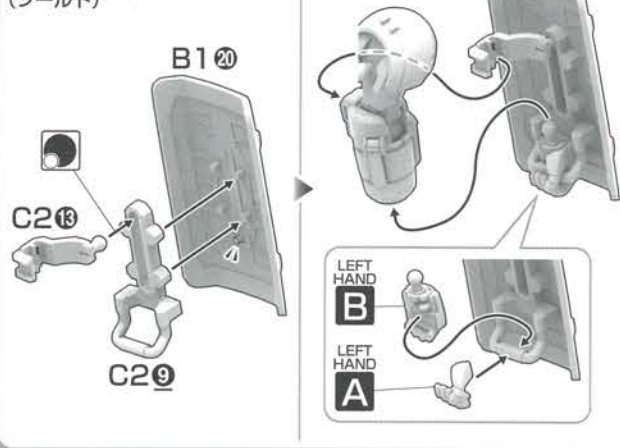
RIGHT LEG



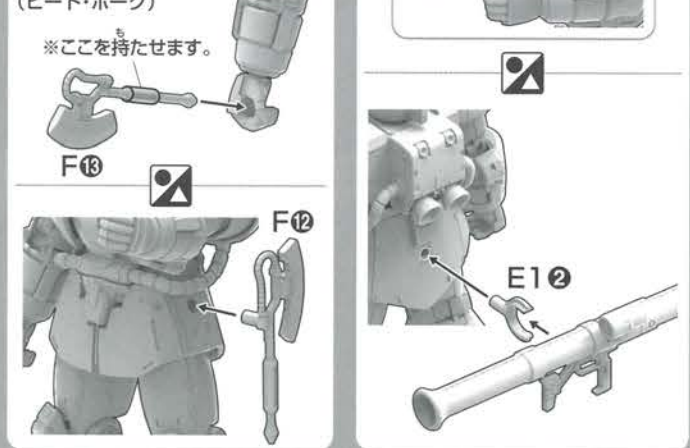
BAZOOKA



SHIELD



HEAT HAWK



GIMMICK

